

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2012-2013



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 宮崎 良一 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 東山 直史
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第1041回

2013年3月26日(火) 曇 第35回

～識字率向上月間～

斉唱 それでこそロータリー
出席 会員55名(出席率算入人数50名)
出席43名 出席率86.00%
前々回補填率91.30%(3月12日分)

会長あいさつ

会長 宮崎 良一さん

皆さま、こんばんは。今日は先週に引き続いて楽しみな会員卓話を安藤さんをお願いをしております。

ところで、あまりこういう話をしたことがなかったのですが、昨日から今朝にかけてテレビや新聞の一面で広島高裁で選挙無効の違憲判決が出たということが大きく取り上げられています。「よく知った顔が出ているな」と思っていたら、同年同期で20代から長い間お付き合いをしている仲間でありました。ですから、非常に親しみをもって見ておりました。評論なんかを見ていると、今まで選挙に関しては不公平で違憲状態だということはいくつも出ていましたが、選挙無効まで踏み込んだ初めての案件だということで、良い評価も出ているようです。

元々、違憲というのはあまり出てこなかったのですが、ここの所、立て続けに出ています。東京地裁では、少し精神等に障害があって十分な経済的判断能力が無い場合に後見人を付けた被後見人には選挙権がなくなるという法律は違憲だという判決が出ました。後見人を付けなければいけない状態の人であっても、必ずしも選挙権の行使に耐えられる能力かどうかというのは別の問題であり、一律にすべて禁止する、選挙権なしとするのは平等に反するということで、かなりの賛成を得られて法律改正に進んでいくようであります。

最近こういう違憲立法審査権というのが発動されてきて、公平とか公正ということが特に強く考えられる時代になってきたとしみじみと思っています。

そんなことを申し上げて会長あいさつに代えさせていただきます。と思います。



幹事報告

幹事 坂本 晃さん

- 2760地区の俳句大会の案内が来ております。11月3日(日)愛知県産業労働センターで行われます。参加の申込は7月26日(金)まで、俳句の締切は9月27日(金)までとなっております。参加料として一人3,000円必要です。是非、参加していただきたいと思っております。
- 次回の理事会は4月2日(火)午後5時から17階パインの間で行われます。
- 永野さんに代わって水野はる美さんが事務局員となります。簡単に挨拶をお願いします。「水野はる美と申します。一日も早く皆様のお顔とお名前が一致するように、また業務を一日も早く覚えたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。」

ニコボックス

◆安藤さんの会員卓話楽しみにしています。

山本 誠一さん 久米 伸治さん 田中 一雄さん
伊藤 圭一さん 野々村恵吾さん 木下 福郎さん
本多 利郎さん 朝比美和子さん 小山 慎介さん
安藤 修さん 長尾 浅吉さん 佐々木元彦さん
犬飼りさ枝さん 鈴木 清詞さん 榊原 和美さん
加藤 英敏さん 中村 勝さん 細井 俊男さん
坂本 晃さん 白藤 憲雄さん 宮崎 良一さん
大平 明子さん 東山 直史さん 三浦 和人さん

本日合計 29,000円 累計 975,700円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

会員卓話

安藤 修さん

皆さま、こんばんは。安藤でございます。つたない話ですが居眠りしながら聞いてやって下さい。

私どもの会社は昭和46年に創業致しまして現在に至っております。塗装と申しましても、天井も塗装ですし、柱も塗装なのですが、いわゆる建築塗装というものがありまして、それに私どもは従事しております。



塗装でも、例えば工場で行う塗装と実際に現場で行う塗装がございしますが、私どもは現場で行う塗装がございします。私どもは住宅の塗装がメインでありまして、新築の住宅の内部、外部を塗ったり、住宅の塗り替え等をメインに行っております。時々、店舗の塗装工事も請け負っております。

取引先と致しましては、大手ゼネコンさんとか大手の建築会社様とはほぼお付き合いはなく、木造を中心とした工務店様を中心に、店舗設計施工の会社とお付き合いをさせていただいております。最近の大手建築会社の新築物件に関しましてはほとんど塗装工事が無く、逆に工務店さんというのは割と塗装工事が多く、例えば建築の設計士が管理したりする物件ですと、中の天井から壁から建具からすべて塗装ということも多々ありまして、お陰様で忙しくさせていただいております。

新築の建物の中で使用する塗料に自然塗料というものがございまして、最近多く使うようになっております。自然塗料というのは健康とエコロジーの徹底から誕生しました。ほぼドイツからの製品が多いのですが、名古屋等にはなかなか自然塗料の在庫を持っている塗料販売店が少なく、いろいろ探すのですが、今は静岡の塗料販売店からインターネットで購入している次第でございます。ドイツの自然塗料と申しまして、数社ありまして、そのうち1社の自然塗料を名古屋では我が社が一番多く使っているのではないかとされておりまして。

住宅の塗り替えとなるとなかなか難しいものがあります。元々自然塗料を塗ってあるものであれば問題ないのですが、元々の塗装に一般塗料メーカーの塗料が塗ってありますと、それを一度全部剥がさなければいけないということがあります。全部古い塗料をとろうと思えばかなりの手間がかかってしまい、高額になってしまいます。自然塗料は新築がまだまだメインだなあと感じます。また乾燥時間も長いものですから一日に二回塗ることが出来ない場合が多いので、どうしてもリフォームや店舗塗装ではちょっと不向きかなあと感じます。

最近、インターネットの情報の多さで設計士さん、個人のお客様もそうなんですが、色々な塗料を指定してくることが多く、私どもが知らない塗料も、「こういう物も塗ってくれないだろうか」と言われることがよくあります。それを調べて本当に良い物かどうかというのを確認しながらお客さんと相談しながら塗装をしております。

先ほども申しましたが、当社は店舗設計施工の塗装も約3割ほど行っております。以前は関東、関西、遠くは鹿児島県まで出張したこともありました。ただ、バブルがはじけてからはやはり関西圏の顧客がかなり下がったこともありまして、段々出張も減ってまいりました。私がまだ職人だった30年くらい前の店舗の塗装というと、東京のデザインが名古屋にも来まして、扱ってみると面白いなあ、というそんな商品が結構ありました。

最近では、アンティークな塗装というものがあるのですが、建築塗装業者はあまりやりたがりません。どうしても手間暇がかかってしまうのと、感性の塗装なので、例えば美術科を出た方がやられることもあります。大阪のユニバーサルスタジオはほとんどの建造物が塗装で、初めて行ったのですが、ずっと

一日その場所にて見ていたいなあと思えました。わざと錆びさせた塗装だとか古い建物、扉に見せたりだとか、そういう物が多々ありまして、本当にすごく興味を引かれました。

最近、店舗の塗装に手間暇をかけるということがどんどん減ってきてまして、小さな物件でも数社の相見積もり、また金額と工期の短縮が重要視されているのが現状です。

現在、リフォーム業界が大変盛んです。数年前より、ホームセンター、家電業界、清掃業界、どんどんリフォーム業界に参入しております。30年くらい前からは想像も出来ないようなことです。

40年くらい前の職人というのは、「職人は怖いなあ」というようなイメージを持たせたものですが、なるべく怖いイメージを減らしたいなということで、早くからユニフォームを作成したり、言葉遣い等には力を入れてきました。ようやく我が社も一級塗装料士ばかりになり大分お客様より信頼を得ているのかなあと感じております。リフォーム会社さんの台頭によってお客様満足という言葉がかなり浸透していて、職人も大分教育を受け30~40年前から比べると本当に真面目な職人になったなあと思えます。私が思っている職人の技術力養成は何かといいますと、目と心だと思っております。やはり良い物を見る目、良い仕上がりを見る目であったり、心というのはやはり正義と奉仕というものを常に考えております。

温故知新という言葉が大好きなので故きをもって新しくを訪ねたいということを中心に思っております。自分が元々職人だったものですから、社員の高い技術力を磨くということが第一条件と考えており、経営ということに関しては後回しになっているのが現状でなかなか儲かりません。

ただ、元請け会社様とのお付き合いということで、下請けという感覚でなく常に横請けという感覚で捉えておりますので、どんなときでも間違っているものは間違っていると見えるお付き合いをさせていただいております。ですから、常に今のお客様にとってベストなものを考え提案させていただいて、常にベストな工程をお互い切磋琢磨して作っております。

以前、住宅関係ではない取引先様から「リフォーム部を立ち上げたいんだけどどうだろう」という相談を受けまして、「最初は小さい物から請け負ってスタートするものだよ」という話をしますと、本当に実行されて3年後には2億円くらいになってしまいました。あまりにもリフォーム部が順調なので今度は「新築部を立ち上げたい」という相談がありました。元々、その取引先の協力業者の会長をやったという経緯もありますし、今役員になっているメンバーがまだ私よりも若く入社当時から知っておりますので、その会社の塗装というのは我が社が独占という状態になっております。

どんどん新しい塗装会社さんが営業に来ますので、見積もりをして金額が同じだと我が社というふうに優遇されております。最近リフォームでよく問題になることがあるのですが、お客さんから色が違うと裁判になったという話を知り合いの弁護士から聞きました。確かに事前に色見本を作成してそこから契約に持って行くのが普通です。工事を請け負う

場合は事前にきちっとした打合せをやらなくては
いけない、とその時思い出しました。

外壁の塗装工事の工程というものがあ
りまして、まず依頼を受けますと事前に調査に入
ります。そこから建物に合う塗料がどうい
う物なのか選定、お話す間に希望を聞き
出し、見積書を最低でも3通り作成しま
す。それから契約となります。契約が成
立しますと工程表を提出しながら、色彩
計画に入ります。それから色見本の作成
にかかります。作業工程は足場組から
はじまり、高圧洗浄という作業に入
ります。そこから乾燥期間を経て下地
処理に入ります。古くなった物がどう
いう状況にあるのか、例えば、窓の
周りのコーキングが悪くなっていたら
取り替えたり、穴が開いていたら穴を
塞いだり、古くなればなるほど下地
処理の費用はかかってしまいま
す。

以前は建物の塗り替えというものは
10年だと言われておりました。ただ、最近
は塗料もどんどん進化して、15年や
20年の物もあります。ただ、なかなか
20年の保証というのは難しいと思
います。やはり、既存の塗料がどの
ような塗料を扱っているのか、そ
ういうことも計算しなければなら
ないので、大きく変わってくると思
います。その外壁の塗料ですが、最
近では、遮熱塗料だとか断熱塗料等
色々な種類の塗料が出てお
ります。一般の塗料メーカー以外
からもかなり出てお
ります。遮熱塗料で例えばカタ
ログ表記では「15～20℃下がる」
とあっても建物の中で15～20℃
下げるといのはかなり難しいと思
いますし、そこには色に関連して
きます。白はやはり反射率が高い
のでかなり有効ですが、屋根に
白い色を塗ったらおかしいです
よね。屋根は濃い色の方が良い
と思いますので、その辺り5℃
くらいの計算でいた方が
良いのかなあと
思います。

皆さまも塗り替え等のご用
がありましたらお声をかけて
いただければご相談に乗
らせていただきたいと思
いますので宜しく
お願い致します。あ
りがう
ございました。

第 1043 回例会 (4 月 13 日) のご案内

春の家族会 於：京都松山閣本店
10：30 京都駅八条口新都ホテル前集合